

●3月・4月定例セミナー延期のお知らせ

国内外での新型コロナウイルス(COVID-19)の感染症拡大の防止のため、皆様の安全を考慮し、3月と4月の定例セミナーを延期とさせていただきますことといたしました。

既にお申込みいただいていた方やセミナーを楽しみにしていた方には心よりお詫び申し上げます。何卒ご理解・ご協力賜りますようお願いいたします。

尚、延期後の新たな開催日につきましては、今の状況が落ち着きましたらご案内申し上げます。

●プレゼン認定セミナーのご案内

<ビジュアルマスタープレゼンター養成>

3月21日(土) プレゼンテーション基礎

3月22日(日) ビジュアルプレゼンテーション
9時30分～17時30分

受講料:<二日間>-JPA会員 50,000円 / 非会員 60,000円
<一日のみ>JPA会員 30,000円 / 非会員 40,000円

両講座とも受講され一定のスキルを身につけられた方に「ビジュアルマスタープレゼンター」の認定証を差し上げます。一日のみの参加でも大歓迎です。

各講座の詳しい内容やお申込みはこちら(↓)になります。

[プレゼンテーション基礎](#) [ビジュアルプレゼンテーション](#)

● 理事長からのプレゼント

(5回シリーズ、その③)

気や感性について

高野 文夫 NPO日本プレゼンテーション協会理事長

1、イエスとノーは 吸気と呼気に対応している

吸気の時、人は自分と外界を結び付け、外の物を受け入れます。

それはいわば受け入れであり受け身なのです。

一方、呼気はエネルギーの排出であり外界への働きかけ、排泄行動とも言えます。そして、吸気と呼気の間が、「間の息」「保息」のプロセスです。

クレーム対応に出向いたときは、クレマーの言いたい全ての事を吐き出させるのがコツだと言われています。クレマーが、文句を言い続ける間、ただただ、ひたすらにあいづちを打って聴くに徹するのです。

途中で、「あ！それは誤解です」なんて文句をさしはさんでもいけない。聞き役に徹していると、ある時点で相手は言う事がなくなってしまいます。

すなわち相手は、吐いて吐いて吐き切ってしまうているのです。そこがチャンス到来です。今度は聞き手が吐く番なのです。

「おっしゃることは、誠にその通りなので

すが、実は2-3事実と異なることがございまして・・・」と切り返しに入るのです。

言いたいことを言いつくしてしまった相手は、次に続く言葉が無いので、自然に相手のいう事に耳を傾けることになるのです。

これは身体の原理を利用した方法なのですが、人間の呼吸の原理が分かっているからできる事なのです。

クレマーの相手が、すべてを吐き切ったかどうかの見極めは、「言いたいことはそれですべてですか？」なんて聞くことは邪道であり、相手の吐き切る終点を見抜けるかが、理屈を超えた感性力なのです。

すなわち、分かりました；Yes・・・は吸う呼吸で、いや、納得できない；No・・・は呼気の呼吸なのです。

2、「気」の動きは想像力と実力が変わる

この事は野球やゴルフをやった方ならよくわかるでしょう。

ボールへのインパクトの瞬間は、バットやクラブの振りのスピードが最高峰に達し、そ

のスピードを維持しながら振りぬく感覚が大切です。

ボールの重さ×スピードの大きさがパワーが決まり、そのパワーの大きさが飛翔距離がきまるのです。

この時重要なことは、このひと振りで200ヤードレベルではなく、250ヤードの目標地まで玉を送り込むんだとイメージ（想像力）するかどうかです。

このイメージ力が結果を出すのです。全くイメージを持たずにただ頑張っただけでは、上手くいったときは、

たまたま偶然に上手く行ったのであって、常に目標値に落とす確率は間違いなく下がります。

私が長らくやっている格闘技の空手やボクシングも然りで、空手の場合は突きが相手の胸なら胸に当たった後、相手の胸板の厚さ3倍以上の背中後ろに（距離的には1メートル位）突き抜いて到達させるイメージです。

私の空手の先生は、常々突きは相手の目標の胸板の厚さの3倍先位のところに当てる感覚で突けと言われたものです。

中年以降に始めたので本格的なボクシングではありませんが、新大久保の協栄ボクシングジムのトレーナーについてボクシングを10年近くかじったことがあります。

ボクシングもイメージ勝負のところがありました。パンチを打つとき相手のパンチと後ろ足の足先を連動させて地べた（床）からのパワーをくみ上げて、パンチに載せて相手にぶち込むというイメージです。すなわち地球からパワーをもらってそれを送り込むというイメージです。

これらは、「パワー＝重量×スピード」ではなく「気」の力でもあるのです。「パワー＝重量×スピード」では到底なしえない様な結果が出ることもあるのです。

「気」は理論では説明が難しく、要は「気」の力を信じれるかどうかです。

信じれるのは正に、その人の「感性力」に懸っていると私は思います。

この事は、スポーツや武術だけでなく、日常茶飯事、どのようなことにも共通していると思います。

サラリーマンが営業で業績を上げようと努力するときも然りで、「ただルーチン活動としてボーとして」営業活動をやっているのと、目標を意識して「気」を入れてやっているのとでは、結果に大きな開きが出ることは必至です。

3、意識を支える無意識の英知というものがある

無意識や本能は、意識を支える心の大地である体という大地、それは最も身近な自然でもある。息づく身体にこそ、様々な知恵の源が潜在するのです。

それが無意識の英知だと思うのです。知識を詰んで頭脳の働きだけが膨張すると人間が人間ではなくロボット化するのです。

皆さんはこの事は嘘だと思うでしょうから、簡単に経験できるので今度やられてみたら如何でしょうか？無意識な生き物であろう雑草が意識を持っているのを探る実験です。

私の家の周りには、特に盛夏には、どんどん雑草が生えてきます。家の周りの雑草を抜

くのは妻ではなく私の役目になっているのですが、雑草とコミュニケーションするととても良い機会ですので喜んでやっています。

どういうことかという、すすめの帷子（かたびら）などの雑草は根がしぶとく張っていて簡単には抜けないのです。ところがある時簡単に抜く方法を編み出したのです。雑草とコミュニケーションをします。

まず軽く抜く動作をします。そして、「こりゃ駄目だ！」って抜くのを諦めたふりをして、すかさず一気に抜くのです。その時間は2-3秒です。

何で一旦抜こうとした「すすめの帷子（かたびら）」は二度目の挑戦でいとも簡単に抜けるのでしょうか？私はこう考えました。

「こいつは俺様の根の張り具合に、諦めて行ってしまったようだ！やれやれ！」って一瞬ポーとして気を抜くのです。その気が抜けて、デレーとなった瞬間に一気に引っこ抜くのです。

私はこの発見で、「雑草も生きてるんだなあー、そして俺たち人間様ともコミュニケーションをとっていやがる」って思うようになりました。

私のお父さんは伊豆大島の漁師でしたが、船を出すと、まず海の水に聞いてみると言っ

ていました。「今日はどちらの方に魚がいるんだ？アワビは、サザエは今日はどちらの磯が良いんだ？」ってね。

それとなく海の水が教えてくれるものがあるというのです。お父さんは、なかなかの成果を挙げる漁師でした。

私はこう思うんですよ。木も、雑草も、魚も、魚介類も、そして海水だって息づいているという事です。試しにお友達が医者なら、聴診器を借りて森に入って御覧なさい。

そして色々な木にその充ててみなさい。木の導管を通して、水分や栄養分が根っこから幹を通して葉っぱに迄流れていく、その生き物の呼吸、音を聞くことができるでしょう。

そしてかわいい感じがする木を見つけて、ハグしてあげるんです。

もし、その木があなたを好きになったら、聴診器の音が、ひときわ踊りながら、歌っている様に聞こえるでしょう。

それが全く感じられないとしたら、あなたは現代病にかかってしまっているんです。言い過ぎかも知れないが「感性のひだ」が削げ落ちて、いわばロボット化してしまったという事でしょうね。

次は2020年4月15日号になります。